

マイクラフト コンテスト2026



チャレンジ部門ワールドの作り方



はじめに よんでね

チャレンジ部門は、**A半島にある5つのエリア**から好きな場所をえらんで、テーマにあった町づくりにちょうせんする部門です。
それぞれのエリアには、テーマと「**こまっていること**」があります。
気になるエリアを1つ以上えらんで、町を元気にする建物や道路をつくってみよう！



A半島 5つのエリア

-  **みかん町エリア**
漁業がさかんな港町
-  **れもん町エリア**
サーフィンで人気の海の町
-  **ぶどう町エリア**
歴史ある高台の城下町
-  **りんご町エリア**
海と山に囲まれた町
-  **ばなな町エリア**
一番さかえた住みやすい町

▶ スタート地点はどこ？

ダウンロードしたワールドをひらいたら、まず「**スタート地点**」からスタートするよ。

スタート地点には、5つのエリアへ移動（いどう）するための「**テレポートする床**」がならんでいるんだ。

それぞれの床の前には**かんばん**があるから、行きたいエリアをえらんで乗ってみよう！



STEP1

テレポートする床を見つける



スタート地点にならんでいる**テレポートする床**を見つけよう。

STEP2

行きたいエリアの床に乗る



行きたいエリアの**床に乗る**だけでテレポートされるよ！

STEP3

エリアに到着！町づくり開始



えらんだエリアに到着（とうちゃく）！さっそく町づくりをはじめよう。



どのエリアにするか迷（まよ）ったら、まず全部のエリアをテレポートで見てまわるのもおすすめだよ！

コンテストにチャレンジするための**4つのステップ**を、じゅんばんに見ていこう！

1

STEP 1

エリアを選ぶ

A半島には**5つのエリア**があります。

気になるエリアを**1つ以上**選んでください。ふくすうのエリアを選んでOKです。

2

STEP 2

エリアの課題を知る

それぞれのエリアには「**困っていること（課題）**」があります。
このガイドで、その課題をよく理解しましょう。

3

STEP 3

課題を解決しよう

STEP 2 で見つけた課題を**建設業のパワー**で解決しよう！

応募動画を参考にするとヒントが見つかるかもしれません。

4

STEP 4

説明文を書いて応募

なぜそのエリアを選んだか、どんな建築物を造り課題を解決しようとしたかを応募フォームに記入してください。

POINT ポイント

建物のカッコよさだけでなく、「**なぜそれを作ったか**」という考え方も審査で重視されます。**自分の言葉**で説明してみましょう。



みかん町の港

▶ どんな町？

大きな湾に面した**港町**で、むかしから**漁業**がさかんな町だよ。海のそばには広い干潟（ひがた）が広がっていて、しおひがりや魚つりが楽しめるんだ。

海の幸をあつかう**市場**や、とれたての魚をその場で食べられる**浜焼きのお店**もあって、自然と食べものにめぐまれた町なんだよ。

こまっていること

町の人が**だんだん少なくなっている**んだ。若い人が都会に引っこして、お店や学校も少なくなり、町がだんだん静かになってきているよ。

住む人にもおとずれる人にも「いい町だな」と思ってもらえるくふうが必要なんだ。



作ってみよう！

アイデア例



大きな橋や道路

人の流れが活発になるように、他の町と道でつなげたり、B半島に橋を架けることで人が行き来しやすくなるよ



学校や病院

くらしやすい施設があると、ずっと住みたくなるよ



港のターミナル・船着き場

海の仕事や観光がもっと楽しくなるよ



▶ どんな町？

サーフィンで有名な海の町。長い砂浜と、いつも波がある海がじまんで、日本中や世界中からサーファーが集まってくるんだ。

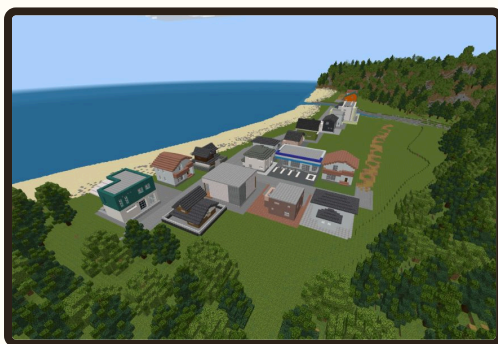
別荘地としても人気で、都会からも電車で来やすい場所にあるよ。夏は海水浴やキャンプでとてもにぎやかになる、開放的な町だよ。

こまっていること

夏はにぎやかだけど、**遊べる場所が少なくて、とくに冬は人がすくなくなってしまうんだ。**

海はキレイなのに、寒い季節はお店もしまっしまい、町がひっそりしてしまうよ。

一年を通して楽しめる場所や、**泊まれる場所**を増やすのがいいだよ。



作ってみよう！

アイデア例



水害に強い町

海と同じ高さにある町だから水害が不安だよ。その不安を建設業のパワーで解決してみよう。いろんなアイデアがあるから、ぜひ調べてみてね



テラス席のカフェ・民宿

ゆっくり泊まれる場所があると、長く楽しめるよ



海ぞいの遊歩道や広場

冬でも散歩や写真スポットとして楽しめるよ



ぶどう町の城と城下町



▶ どんな町？

山にかこまれた**高台の城・城下町**を中心に、むかしの町なみが今ものこっていて、歩くだけで歴史を感じられる場所だよ。

タケノコやしいたけなど、山の食べものもゆたか。

お寺や**神社**、田畑がひろがる、しずかで落ちついた町なんだ。

こまっていること

山にかこまれているため、**まわりの町とのつながりが少なく、発展がおくれている**んだ。

道が細くて車もあまり通らず、若い人は都会へ引っこしがち。お店や病院も遠くて、くらしがちょっと不便だよ。

歴史のみりよくをいかしつつ、**くらしやすさ**もつくるのが大切だよ。



作ってみよう！

アイデア例



家や集落の公会所

人が暮らし、集まれる場所で町がまとまるよ



高速道路やバイパス

走りやすい道路を造ることで、他の町から人が来やすくなるよ



小さな神社やお寺、田畑

歴史ある町らしい風景になるよ



りんご町の海と山



▶ どんな町？

海と山の両方にかこまれた、自然ゆたかな**避暑地（ひしょち）・リゾート地**だよ。夏でもすずしく、朝市（あさいち）で有名なんだ。

海では新せんな魚がとれて、山ではキャンプやハイキングが楽しめる。**遊ぶ場所も食べる楽しみも**そろった、ぜいたくな町だよ。

こまっていること

都会から遠く、**町まで行くのが大変で、引っこした人があまり戻ってこない**んだ。

自然はすばらしいのに、電車やバスが少なく「行きにくい町」になってしまっている。若い人がへって、お店もだんだん少なくなっているよ。**来たくなる魅力（みりょく）**をつくることがポイントだよ。



作ってみよう！

アイデア例



ホテル・グランピングやコテージ

自然をいかした観光地にすると人を呼べるよ



道路やロープウェイ

ぶどう町とつなげることで、両方の町が元気になるかもしれないよ



ハイキング道や展望台

山も海も楽しめる名所になるよ



🌸 ばなな町のまちなみ



▶ どんな町？

5つの町のなかで**いちばんさかえた町**。

フェリーでB半島ともつながっていて、観光でにぎわうよ。

お花畑や海水浴場、博物館などがあって、季節ごとに楽しみがいっぱい。

あたたかい気候で、**住みやすい町**としても知られているんだ。

こまっていること

5つの町でいちばんさかえているけれど、**都会から遠く、住む人が少なくなっているんだ**。

観光で来る人はいるけれど、そのままずっと住んでくれる人は少なく、町の元気が続かない。

くらしやすさと観光のみりよく、どちらもそだてることが大切なんだよ。



作ってみよう！

アイデア例



道路・橋・飛行場

他の町に行きやすいと、人がずっと住んでくれるかもしれないよ



博物館やお花畑

観光名所で町のみりよくがアップするよ



道ぞいの花だん

町の印象がよくなって、訪れる人が増えるよ

町の中に「みんなの場所」を作ろう

どのエリアをえらんでも、町づくりで気をつけたい3つのコツがあるよ。

1 公共のしせつを1つ入れよう



町には「役場・図書館・学校」のような公共施設が1つくらいあっていいね。みんなが使える場所は、町の中心になるよ！

2 広場や公園を入れよう



花のある公園や、運動場のような広場をつくるのもおすすめ。子どもも大人もいっしょに楽しめる場所になるよ！

3 自然をのこすのもポイント



田畑や山林など、もともとある自然をのこすのも大切だよ。ぜんぶ新しくする必要はないんだ！



さあ、きみのアイデアで町を元気にしよう！



こまったときのヒント

アイデアにつまったら、自分が「住みたい町」や「行ってみたい場所」を想像してみよう。家族や友だちに「どんな町だとうれしい？」と聞いてみるのもおすすめだよ！

■ 正解は1つじゃない。きみらしいアイデアで、A半島を元気に！ ■

土木構造物（どぼくこうぞうぶつ）を作ってみよう

▶ どうして「つなぐ」ことが大切なの？

A半島の5つの町は、それぞれ山や川、海によってはなれているよ。

でも、どの町にも「こまっていること（課題（かだい））」があるよね。

その課題を解決するには、町の中だけを整えるだけでは十分じゃないんだ。

道路や橋、トンネルなどの「土木構造物（どぼくこうぞうぶつ）」を作ること、町と町がつながり、人やものが行き来できるようになるよ。たとえば山にかこまれた**ぶどう町**は、まわりの町とつながりにくいのが課題。

道路やトンネルを通すことで、人が行き来しやすくなり、町に活気（かっき）がもどってくるかもしれないよ。

土木構造物は「でっかい建物を作ること」じゃなくて、「**人々の生活をつなぐしくみを作ること**」なんだ。

どの町とどの町をつなぐとどんないいことがあるか、考えながら作ってみよう！



作ってみよう！

アイデア例

道路・トンネル

山にかこまれた町へのアクセスをよくして、**人の行き来**を生み出せるよ。

橋・護岸（ごがん）・堤防（ていぼう）

海や川をこえて**となりの町とつながる**よ。海や川のそばの町を守りながら安心してらせる環境になるんだ。

港の整備・棧橋（さんばし）

海の町どうしを**フェリー**でむすび、観光客や物資（ぶっし）の流れを作れるよ。



どの町とどの町をつなぐと、みんなが便利になるかな？ **地図を見ながら**考えてみるとアイデアが広がるよ！

交通インフラで生活をゆたかにしよう

▶ 「インフラ」ってなに？

「インフラ」（正式には「インフラストラクチャー」）とは、わたしたちの生活を支える「しくみ」や「設備（せつび）」のことだよ。
電気・水道・道路・鉄道（てつどう）・空港などがその代表例。

今よりもっと大きな**交通インフラ**を作ること、A半島の町は**遠くの都市**ともつながり、**人・もの・情報**が行き来するようになるんだ。
人が集まれば、お店も増えて、より住みやすい町になっていくよ。

A半島は都会から来るのが「大変」「遠い」というイメージを持たれがちだよ。
でも、**交通インフラが整（ととの）えば**、その距離感（きょりかん）を一気に縮（ちぢ）められるんだ。
「行きたい!」「住みたい!」と思ってもらえる町を目指してみよう!



作ってみよう!

アイデア例



鉄道（てつどう）・駅

都会から人がやってきやすくなり、
通勤・通学もできるようになるよ。
駅のまわりに自然とお店や住宅が集まるんだ。



空港・大きな港

遠くの都市や外国ともつながり、**観光やビジネスの人**が集まるよ。物
資（ぶっし）の流れも活発になるんだ。



バスターミナル・道の駅

車で来る人が休憩（きゅうけい）・立ち寄れる場所を作ること
で、**町への入り口**になるよ。



「今のA半島には無いけど、あったら便利なもの」を想像してみよう。**未来の交通**を考えるのも楽しいよ!

建物のカッコよさだけじゃない！「なぜ作ったか」を大切にしています。次の4つの観点で審査するよ。

1

課題理解力・
解決力

課題を理解して解決しようとしているか

- ▶ 選んだエリアの課題を説明できる
- ▶ 課題解決につながる建築物や土木構造物を作っている（建設業のパワーをうまく使っている）
- ▶ なぜその施設を作ったかを説明できる

2

創造性

自分らしいアイデアが入っているか

- ▶ 「自分がその町に住むなら」という視点で考えている
- ▶ 独自のアイデアや工夫がある

3

技術力

マインクラフトの機能を活用しているか

- ▶ ブロックや機能を上手に使っている
- ▶ 細部まで作り込まれている

4

建設業に関する
理解

建設業について調べて作ったか

- ▶ 橋や道路などを調べながら作っている
- ▶ 建設業への理解が作品・説明文に出ている

MUST
必須

応募フォームには必ず説明文を書いてね！

なぜそのエリアを選んだか、どんな課題をどうやって解決しようとしたかを、自分の言葉で書いてください。説明文も審査の大切なポイントです。